

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	膀胱移行上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Epidermotropic Urothelial Carcinoma Involving the Glans Penis	
	論文の日本語タイトル	PagetCQ1-2	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	121	
	号		
	ページ	532-4	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1985	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Metcalf JS	Department of Pathology, Medical University of South Carolina
	その他著者 1	Lee RE	Sumter Urology Associates
	その他著者 2	Maize JC	Departments of Pathology and Dermatology, Medical University of South Carolina
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	膀胱移行上皮癌の亀頭部への表皮行性転移例の報告	
	研究デザイン	症例報告	
	セッティング	Department of Pathology, Medical University of South Carolina	
	対象者	64 歳男性の膀胱移行上皮癌患者	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (2)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (1)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
		1	1.主要 2.副次 3.その他 ()
		2	1.主要 2.副次 3.その他 ()
		3	1.主要 2.副次 3.その他 ()
		4	1.主要 2.副次 3.その他 ()
		5	1.主要 2.副次 3.その他 ()
		6	1.主要 2.副次 3.その他 ()
		7	1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8	1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	9	1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	10	1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	主な結果	64 歳男性の膀胱移行上皮癌患者が、根治的膀胱切除術後 22 ヶ月の時点で亀頭部に表皮行性転移を生じた。病理学および免疫組織学的に乳房外パジェット病と区別できない所見を示し、alcian blue(+),d-PAS(+),CEA(+),PSA(-)であった。免染所見は原発の膀胱移行上皮癌とも一致していた。	
	結論	膀胱移行上皮癌は亀頭部に表皮行性転移を生じうる。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	清原隆宏	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (V) 症例報告であるが、膀胱移行上皮癌が亀頭部に表皮行性転移を生じる可能性を免疫組織化学的に検討した最初の重要な報告である。	